

韓国環境部プレスリリース 2020 年 2 月 23 日付

京畿道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 245-248 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1332495&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は 2 月 21 日京畿道（キョンギド）坡州市（パジュシ）郡内面（クンネミョン）、漣川郡（ヨンチョンゲン）旺澄面（ワンジンミョン）および百鶴面（ペツカンミョン）民間制限線内で発見された野生いのしし死体 4 個体から ASF ウイルスが検出されたと 2 月 23 日明らかにした。

□国立環境科学院は 2 月 23 日死体 4 個体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで坡州市（パジュシ）66 件、漣川郡（ヨンチョンゲン）76 件の野生いのしし ASF 陽性事例となり、全国では 248 件になった。

○野生いのしし ASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回発見された死体は全て民間制限線内かつ 2 次フェンス内の既存感染地域で発見され、この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高く徹底的に搜索している」と明らかにした。

以上